

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月19日

事業所名 あうりんこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		児の様子や活動においてケア変更している	成長と共に身体や活動量も大きくなっていくため安全への配慮が必要になってくる。屋外活動を取り入れていく。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善については、スタッフ間で話し合いを実施している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回実施、HPIにて公表	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年に1回実施、HPIにて公表	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修案内を実施。研修動画等を利用。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			活動を保育士で検討しながら、言語聴覚士や理学療法士がアドバイスをを行い、協力して立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間を通して、活動を計画している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		時間割を平日・長期休暇で別に作成している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		放課後等デイサービスは集団のみ実施。	宿題等で個別性を高めて支援に関わったり、集団の中でも個々に支援の必要な箇所はスタッフを配置している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午後始業開始時に、活動内容・職員配置等を確認実施	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終業時にいるスタッフで情報確認、週案にて反省等記載。	スタッフの勤務体制の違いにて、終業時にいないスタッフもいるため、翌日の朝礼にて振り返りや連絡事項の確認を実施。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別記録を作成	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		時間割の確認や保護者からの連絡を随時取れる形にしている。 連絡帳・メール・電話にて対応		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	対象児なし		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	対象児なし		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			兄弟児等が参加出来るイベント(夏祭り)を実施している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			管理者が参加し、スタッフへ伝達実施	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時に保護者に状況報告や相談対応実施し情報交換実施	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			保護者会にて、ビジョントレーニングについての講義実施。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明実施。 施設内掲示も実施。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			必要に応じて随時実施	事業所内相談希望の申込用紙を事業所入り口に配置し、いつでも事業所内相談対応できるように実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			本年度、R2. 1に実施	多くの保護者が参加できる日程を定められるように今後はもっと早めに提示出来るようにしていきたいと考えている。 (年間での保護者会開催日を提示できるようにしたい)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			あうりんこ新聞を月1回で発行している	今後は、活動内容だけではなく子育てに関わる支援の方法等の参考になるようにコラムとしても提示していきたいと検討している。
	35	個人情報に十分注意している	○			同意書を契約時に得ている	事業所新聞など写真を掲示する際は、顔が見えないように掲示する工夫をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			表情カードなど感情表出のサポートを実施している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在招待するイベントはない状況。	子育て支援関係者連絡会に参加する事で、今後の事業所として出来る事を模索・検討中。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時に説明を実施。避難経路や対策については事業所内に掲示している。	各マニュアルについては、今後も見直しを実施していく。防災訓練は年2回実施しているが、防犯訓練は実施しておらず。今後の検討課題である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災訓練は年に2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		契約時に情報確認を保護者へ実施。	追加情報については、連絡帳や保護者から直接聞き、対応策を連携の看護師と実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		計画書へ記載実施。実際に身体拘束を実施した際は、個別記録に記載していき、保護者へ報告していく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書まで必要なアレルギーのある対象児童なし	アレルギーの有無は契約時や随時保護者より情報を得ている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット作成し、ファイルへ保存している。	